

## 令和4年度2学期終業式式辞

今年もあと10日ほどとなり、今日で2学期が終了します。2学期には、運動会や農業祭をはじめ修学旅行など多くの学校行事がありました。皆さんは本当に一生懸命取り組んでくれました。

また、私はいつも皆さんに「love伊予農の心を持ち続け、本校の広告塔として頑張っ  
てほしい」ということをお願いしていますが、皆さんは、様々な取り組みで本当によく  
応えてくれました。部活動、農業クラブ活動をはじめ、多くの諸活動で素晴らしい成果  
をあげてくれました。地域の方々や本校に来校された外部の人たちから、伊予農業高校  
生の活躍は素晴らしいという褒めの言葉を何度もいただきました。それから、私がい  
つも感激するのは、気持ちのよいあいさつができる生徒が多いことです。私たちが成長  
していくための絶対的な土台だと思います。今後も続けてほしいと思います。

話は変わりますが、数年前に高齢者を対象に行われたある調査で、「人生の後半で後悔していることは？」と質問したところ、約9割もの人が、「もっとチャレンジすればよかった」と回答したそうです。この調査におけるチャレンジの中身はよく分かりませんが、もうすぐ高齢者に近づく私は、まさにそのとおりだと共感しました。君たちは今、青春まっただ中にいる高校生ですから、人生の後半ではありません。しかし、いつの年代であっても若々しい気持ちを持ってチャレンジすることが、人がいきいきと生きる上で大切なことではないかと思えます。

人は、心の持ち方によって随分と生き方が違ってくるものです。年齢が若いから「青春」なのではなく、心の在り方次第で、80歳でも「青春」であったり、17歳であっても、年をとった人と変わらない方もいると思います。私たちは、若かろうが齢を重ねようが「青春」であり続け、チャレンジする勇気を持ちたいものです。

自分は、勉強してもできっこないと思いつこんで、夢をあきらめている人はいませんか。その人は、今までやったことのないほどの時間を勉強に費やしたり、分からないときにすぐに投げ出していた勉強を、先生に尋ねたりしてみませんか。部活動をしていて、もう無理！と自分で自分の限界を作って、簡単に練習を休んだり、真剣に努力をしていなかったりしている人はいませんか。トレーニングに工夫を加えてどこまでもあきらめずに粘ってみませんか。

皆さんが、心の中に、創造力、たくましい意思、理想などを秘め、チャレンジする勇気を持って「高校時代」を突き進むことを期待します。

それでは、事故のない、有意義な冬休みを過ごしてください。始業式にはまた元気な笑顔で会いましょう。

令和4年12月20日

伊予農業高等学校 校長 松永 泰